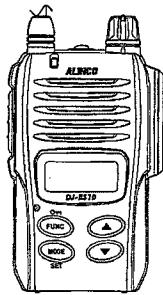


複数波アナログ簡易無線電話装置
(小エリア無線通信システム)

DJ-BS10
(総務省技術基準適合品)

取扱説明書



アルインコFMトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮するために、この取扱説明書を最後までお読みください。よくお読みいただけます。アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は必ず保管しておいてください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。

本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This Product is for use only in Japan.

アルインコ株式会社

定格

送受信周波数：	348.5625MHz ~ 348.7750MHz (1Bch)
電波形式：	348.7875MHz ~ 348.8000MHz (2chデータ通信専用)
送信方式：	F2D, F3E(FM)
送信出力：	1W/2W+20%,-50%以内
自動識別装置：	副波送波MS (方式240Mbps)
受信感度：	-10dB以下(12dB SINAD)
受信方式：	ダブルストリームテロダイブ
低周波出力：	300mW以上(最大時)
前級保護回路の設定：	4nW以下
定格電圧：	3.7V
定格寸法：	55×97.5×35.5mm (EBP-178装着時) (幅×高さ×奥行き：突起物を含まず)
本体重量：	210g(バッテリー、ベルトクリップ含む)

■仕様・定格は予告なく変更する場合があります。

■本書の説明用（リスト）は、実物とは字体や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。

■本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。乱丁・落丁はお取り替え致します。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目9番2号 ハヤカワシントラリビルTEL:03-3279-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区難波2丁目1番1号 港区役所ダイビング課 TEL:06-6336-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区中洲駒町南1丁目3番2号 第3博多ビルTEL:092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル0120-464-007
全国どこでもお問い合わせ、サービス窓口になります。

受付時間：10:00～17:00(月～金)(祝日及び12:00～13:00は除きます)

ホームページ：<http://www.alinco.co.jp/>「電子事業」をご覗くください。

PS0618
FNEN-NG

付属品

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

- 本体
- ベルトクリップ
- 取扱説明書(本書)
- 保証書

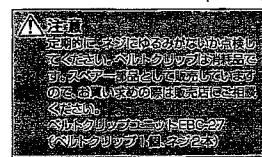
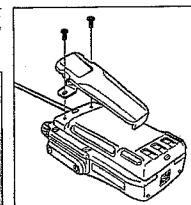


参考

本機のアンテナは折れにくくするために通常のものより柔軟な素材でできており、異常ではありません。

ベルトクリップの取り付け方

ベルトクリップを本体の背面部の溝に合わせて取り付け、ネジを時計方向(右)に回して固定します。



警告

■ 使用環境・条件

- 自動車等の運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 運転者が使用するときは車を安全な場所に止めながら使用ください。
- 携帯無線機を運転者が進行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。
- 電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

- 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に傷害を起こすことがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

- 前空港内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください(医療も入れないで下さい)。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。

- この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できない地域があります。保証書は国内でのご使用のみに適用されます。
This model has been designed for use only in Japan.

- この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で命が失われることがあるっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

- この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないで下さい。
- 相互の影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

- この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる原因も製造元・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

- 指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。

- 故障の原因となります。

- トランシーバー本体の取り扱いについて
- イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。電力障害の原因になることがあります。

- このトランシーバーは絶対に改造して使用しないでください。

法律で禁止されているうえ、故障の原因となり、保証の対象外になります。

注意

■ 使用環境・条件

- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

- 温度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。
- 火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。

- 内部の温度が上がるとケースや部品が変形・変色し、火災の原因となることがあります。
- 開理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所には置かないでください。
- 火災・感電・故障の原因となることがあります。

■ トランシーバー本体の取り扱いについて

- アンテナが誤って目にささないように注意してお使いください。

- 外部スピーカー／マイクロホン端子にはオプションのスピーカー／マイクロホンだけは接続しないでください。故障の原因となることがあります。

- 長時間に使用にならないときは、安全のため本体の電源をOFFにし、電池を取り外し、チャージャーをご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

■ チャージャーの取り扱いについて

- チャージャーのACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

- チャージャーのACアダプターを熱器具に近づけないでください。

- 火災・感電・故障の原因となることがあります。

■ 保守・点検

- お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池をとりはずし、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

- 汚れた場合は、柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外殻や文字が変色するおそれがあります。

■ 防護性能について

- この製品は、弊社の設計段階でJIS 保護等級7規格の防水試験に合格しており、防水キャップ類を正しく閉めていれば雨や雪や水の中でも防水力が保たないといったことはありません。ただし、全ての部品を完全前に防水検査をそなえる保証するものではありません。また、全ての部品を完全に防水するためには、必ず各部品ごとに水を噴霧する必要があります。そのため、その後は乾いた布で拭く、電池を交換して内部もよく乾燥させるなどメンテナンスを行ってください。また、正常な状態を維持したいだけだけに、外部MIC/SPを使用しない場合は、必ずチャージャーのコードを正しく取り外してください。なお、防水に使われているゴム素材などは、経年劣化のため変質し、防水性能を失われる場合があります。弊社では、防水性についても製品と周期で1年を保証期間とさせていただきます。損害については保証いたしません。

使用前の注意

■ 使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。

次のような場所では使用しないでください。

(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など)

■ 本機を分解、改造して使用することは、法律でかたく禁じられています。

■ 海外では法律や周波数の割り当てが異なるため使用できません。

This product is permitted for use in Japan only.

■ 電波法上の注意

■ 本機は簡易無線機機器です。使用するには無線機免許が必要です。

■ 免許料に記載されている範囲内での使用ください。

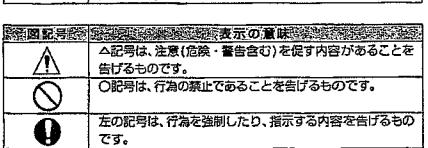
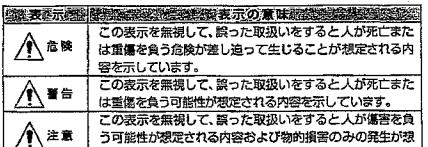
■ 他の機の通信を妨害したり、傍受した内容を盗用するなどして、法律でかたく禁じられています。

■ 電波を使用している関係上、無線機間の通話は第三者による傍受を完全に阻止することは出来ません。そのため機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

安全上の注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上の注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな記表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機能を失ったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースの変形や火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水などでぬれやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。それらが中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■ チャージャーの取り扱いについて

当社指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

チャージャーのACプラグのコードをたこ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

濡れた手でACアダプターに触れたり、抜き差ししたりしないでください。感電の原因となります。

ACアダプターはACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金具などが触れるると、火災・感電・故障の原因となります。

ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

■ 异常時の処置について

以下の場合は、本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、チャージャーをご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常に状態のまままで使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

修理はお買い上げの販売店または当社サービス窓口にてお受けください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。分離の症例があると、保証の対象外となります。

◆ 異常な音がしたり、煙がたたり、変な臭いがするとき
◆ 落としたとき、ケースが壊れましたとき
◆ 内部に水や異物が入ったとき
◆ ACアダプターのコードが壊んだとき(部線の露出や断線など)

■ 音が鳴り出したら、安全のためACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■ 保守・点検

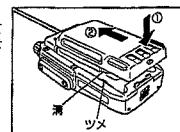
本体やチャージャーのケースは開けないでください。けが、感電、故障の原因となります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご依頼ください。

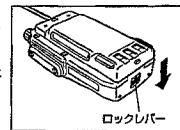
ケースを開けて内部を改造、変更することは法律で禁止されています。

バッテリーパックの取り付け / 取り外し

■バッテリーパックの取り付け方
バッテリーパックの溝を本体のツメに合わせて矢印の方向に押し込みます。ロックレバーがきちんと閉まっていることを確認してください。



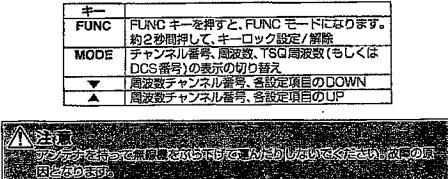
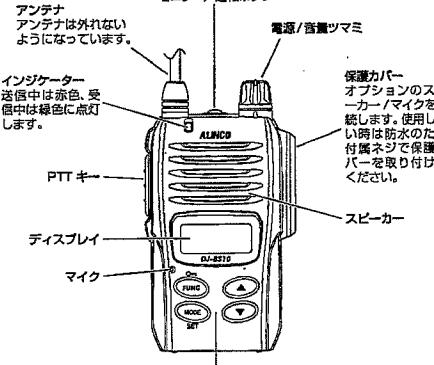
■バッテリーパックの取り外し方
ロックレバーを矢印の方向にスライドし、バッテリーパックを取り外します。



※スライドさせる際は、指や爪などを傷めないように、十分に注意してください。

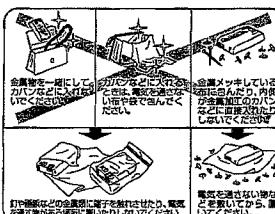
△ 注意
・バッテリーパックは出荷時に十分充電されておりません。お買い上げ後は直ちに充電してください。
・充電時間は約100～100分の間で通常です。
・バッテリーパックの溝、分離穴、火災穴、溝穴への付着は絶対にしないでください。
・充電する際は、電源などの切れない、大型電化製品。
・バッテリーパックの溝は必ずショートさせてください。保護の溝とスクリューハードルの間に火災の原因となることがあります。
・充電中の電池箱の温度が高くなることがありますので、手に触れる際は、必ず手袋等を付けてください。
・バッテリーパックの溝は、必ずDCD-450の溝と正しく接続してください。
・バッテリーパックの溝は、必ずDCD-450の溝と正しく接続してください。
・バッテリーパックの溝は、必ずDCD-450の溝と正しく接続してください。
・バッテリーパックは、必ずDCD-450の溝と正しく接続してください。
・バッテリーパックは、必ずDCD-450の溝と正しく接続..

本体の名称と動作



バッテリーパックのショート防止

バッテリーパックを持ち運ぶときは、十分に注意ください。
ショートによって電流が急増し、発火の原因となることがあります。



リチウムイオンバッテリーパックの充電方法

オプションの専用充電スタンド(EDC-277R)とACアダプター(EDC-222もしくはEDC-262)を接続してリチウムイオン充電池パックを充電します。

注：リチウムイオン充電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。専用充電スタンドでしか充電できません。

充電スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが緑色になります。
充電時間は空のバッテリーパックをフル充電する場合、EDC-177Rは約2.5時間

EDC-177Rは約4時間です。
充電時間は、充電するバッテリーパックの状態によって異なります。

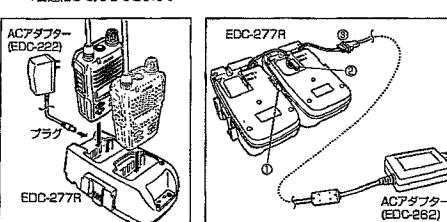
充電終了後は、必ずACアダプターをACコンセントから外してください。

長時間充電したままにしておくと、充電池が熱くなることがあります。

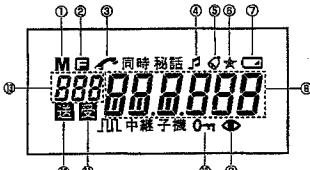
充電中は、本機の電源を切る必要はありませんが、受信音にはノイズが混入する場合があります。

充電池を付いた状態でよく充電できない場合は、電池単体で充電してみてください。

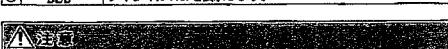
ACアダプター(EDC-262)を使用した場合、充電スタンド(EDC-277R)を最大4台連結して充電できます。



ディスプレイ表示



- ① M メモリー モード時に点灯します。
- ② F FUNCキーを押すと点灯します。
- ③ C コールバック機能設定時に点灯します。
- ④ P コンバーダー機能設定時に点灯します。
- ⑤ Q ベル機能設定時に点灯します。
- ⑥ ★ ボックス機能設定時に点灯します。
- ⑦ B バッテリーリーチ量を表示します。
- ⑧ 88888888 送信・受信チャンネル番号(周波数)や各設定内容を表示します。
- ⑨ ☺ スキップ動作中に点灯します。
- ⑩ O キーロック設定時に点灯します。
- ⑪ T スクリーンが聞くと点灯します。
- ⑫ R 送信中点灯します。
- ⑬ 888 チャンネルNo.を表示します。



通話のしかた

電源を入れる

電源／音量ツマミを時計方向に回して電源を入れます。



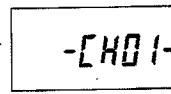
音量を調整する

電源／音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
モニター／ボタンを押すと音量が小さくなります。



チャンネルを合わせる

▲キーや■キーや▼キーや◆キーを押してCH01～CH18を操作します。
キーを押すと連続してチャンネルが切り替わります。



受信する

信号を受信すると、インジケーターが緑色に点灯します。何も設定されていない場合は、トーンスクリールまたはDCSが設定されている場合は、同じ設定の信号を受信するとディスプレイに■が点灯して、受信音が聞こえます。

送信する

PTTキーを押すと、インジケーターが赤色に点灯し送信状態になります。
PTTキーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm程度にしてください。

キー操作

FUNCキーを押すと、FUNCモードになります。
約2秒以上押して、キー/ロック設定／解除

チャンネル番号、周波数(モード)の切り替え

音量調整

モード切替

受信音

便利な機能

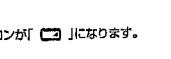
キー/ロック

FUNCキーを2秒以上押すとキー/ロックが設定されます。

ディスプレイに「0」が点灯します。
キー/ロック時、PTTキー、電源のON/OFFの操作のみが可能です。

バッテリー蓄音機能

電池の残量が少くなると、バッテリーインジケーターが■になります。
バッテリーを交換するか、充電してください。



リセット

FUNCキーを押しながら電源を入れます。

ディスプレイに全ての文字や記号が表示されたら、キーを離します。

ご購入時の状態になります。

通報機能

送報ボタンを3秒以上押します。
相手機からの通報音になります。

設定により次の2通りの通報方式を選択できます。

1. 本機と相手機の両方とも通報音になります。

2. 相手機だけ通報音になります。



保守・参考

故障とお考えになる前に

次のような状況では故障ではありませんので、よくお確かめになってください。処置をしておきとどけることがあります。

電池を充電しても、バッテリーパックが接触不良で壊れた布や接着剤で拭いて取れなくなります。

電池が消耗している。

電池スイッチを少し長めに押すと、電池が低減する。

スピーカーから音が聞こえない。

受信できません。

PTTキーが押され、送信状態にならない。

受信待ち状態にならない。

電池が消耗している。

スケルチレベルが弱い。

スケルチレベルを上げるために設定する。

スピーカーが鳴かない。

スピーカーが壊れている。

スピーカーが壊れていても、スピーカーを外してから送信する。

受信中に表示が乱している。

電池が消耗している。

スケルチが誤って開いている。

スケルチを閉じてから送信する。

キーによる操作ができない。

キーが誤作動している。

リセットする。

充電端子が汚れている。

充電端子を拭いてから充電してください。

*ジャックキャップなどの防水ハーネスは消耗品でもありますことに注意してください。

メーカーによるJIS7等級の防潮性能の保証期間は1年間です。

取扱説明書は解決できないことについてサポートが必要な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

最寄りの販売店の検索には、<http://www.alinco.co.jp> の販売店のご案内メニューをご利用ください。

製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように必要な補修用部品を常備しています。但し不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生した場合は、予めご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後5年です。

オプション一覧

EBC-177 リチウムイオン充電池パック(3.7V 1000mA)

EBC-178 リチウムイオン充電池パック(3.7V 1800mA)

EDC-277R 連結用充電スタンド

EDC-222 ACアダプター

EDC-262 ACアダプター(連結用充電器)

EMS-63(1) スピーカーマイク

EMS-40A(2) ヘルメット用ヘッドセット(防水プラグ)

EME-41A(2) イヤホンマイク(ヘッドセット用防水プラグ)

EME-43A イヤホンマイク(防水プラグ)

EME-45A ヘッドセット(防水プラグ)

ESC-52 ソフトケース

ESC-53 ハードケース

EDS-16(3) 変換アダプター

(*)スピーカーマイクは、PTTホール機能、VOX機能が使用できません。

(**)マイ